

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。当社の2014年度事業概況のご報告にあたりまして、この間に株主の皆さまから賜りましたご支援、ご協力を厚く御礼申し上げます。

新中期経営計画SGS2020初年度は、 好調なスタートを切ることができました

昨年4月にスタートした新中期経営計画「Shionogi Growth Strategy 2020 (SGS2020)」の「創薬型製薬企業として成長する」というビジョンのもと、当社グループは、世界中の患者さまに必要とされる画期的な新薬を創製し、お届けできるグローバル企業を目指した事業活動に取り組んでおります。

初年度となりました2014年度は、研究開発領域と販売エリアの「選択と集中」を推進することで、それぞれの事業活動が順調に進展し、SGS2020の達成に向けて好調なスタートを切ることができました。

研究開発におきましては、次世代の成長ドライバーと位置付けている当社創製のオピオイド系鎮痛薬の副作用緩和薬や新規注射用セファロsporin系抗菌薬などの開発が順調に進展しました。

販売面では、高コレステロール血症治療薬「クレストール」、抗うつ薬「サインバルタ」を中心とする国内戦略8品目が堅調に推移し、計画通りの売上を確保しました。中でも、「クレストール」がアストラゼネカ社と合わせて売上高1,000億円(薬価ベース)を突破し、ブロックバスターに成長しました。また、生産の効率化による原価低減や、優先順位を明確にした戦略的な資源配分の徹底など、コスト管理能力が組織風土としてグループ全体に根付いてまいりました。

これらの取り組みに加え、英国 ViiV Healthcare Ltd. (以下、ViiV社) に権利を移転した抗HIV薬の売上拡大により、ロイヤリティーと配当金が増加し、また円安による為替差益も増加したことから、経常利益は3年連続過去最高となりました。

次年度の取り組み

当社グループは、当期の取り組みから獲得した強みと次期に向けた課題を見定め、「国内ビジネスの強化」「グローバル新製品の育成力向上」「ロイヤリティーに依存しない経営体制の構築」の3課題に取り組み、2015年度のビジネスプラン達成を目指してまいります。

シオノギの基本方針(1957年制定)

シオノギの目的

シオノギは、常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する。

そのために

益々よい薬を創り出さねばならない。

益々よい薬を造らねばならない。

益々よい薬を益々多くの人々に知らせ、使って貰わねばならない。

創り、造り、売ることを益々経済的にやりとげねばならない。

そのために

シオノギの人々のあらゆる技術が日々休むことなく向上せねばならない。
シオノギの人々が、人間として日々休むことなく向上しなければならない。

その結果

シオノギの人々は日々の仕事と生活に益々生甲斐を感じる。

シオノギの人々の生活の仕方が益々改善せられる。

シオノギの人々の生活が益々豊かになる。



代表取締役会長

塩野 元三

代表取締役社長

手代木 功

新中期経営計画(SGS2020)のビジョン

創薬型製薬企業として成長する

シオノギが考える創薬型製薬企業

- ・First in Class, Last in Classの創薬研究に取り組んでいる
- ・日米欧亜に開発・販売拠点を有している
- ・上記の創薬研究・開発から生み出された新薬および情報をグローバルに提供している

FIC

First in Class

特に新規性・有効性が高く、従来の治療体系を大幅に変える独創的医薬品

LIC

Last in Class

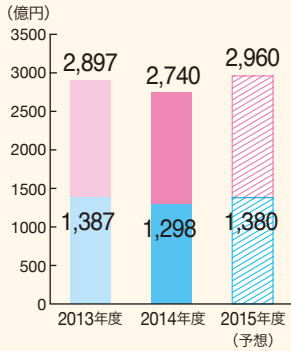
同様のメカニズムで明確な優位性を持ち、他の新薬の追随を許さない医薬品

活動報告

業績のポイント

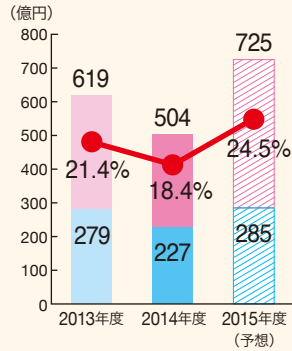
売上高

2,740億円 (前期比5.4% ↓)



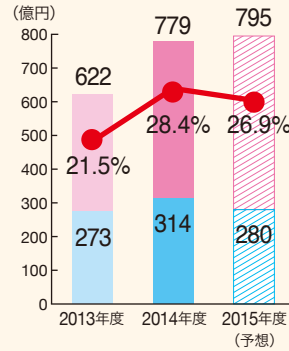
営業利益

504億円 (前期比18.6% ↓)



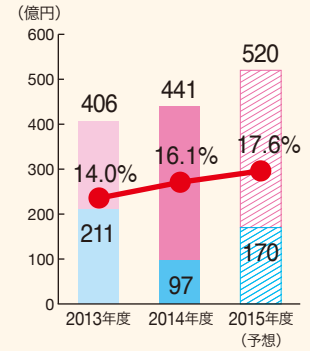
経常利益

779億円 (前期比25.2% ↑)



当期純利益

441億円 (前期比8.5% ↑)



- 国内医療用医薬品は、戦略8品目が堅調に推移しましたが、昨年4月の薬価改定などの影響を受け、前期比で4.1%減少しました。
- 海外は、米国における「オスフィーナ」の売上が着実に増加しましたが、前期に実施した品目売却の影響もあり、前期比で15.8%減少しました。
- ロイヤリティー収入は、契約変更により「クレストール」のロイヤリティーが減少となりましたが、「テビケイ」「トリメク」のロイヤリティーが加わったことで、前期比14.2%の減少にとどまりました。

- グループ全体で、販売関連費や研究開発費の効果的かつ効率的な活用に継続的に取り組んでおりますが、薬価改定や「クレストール」のロイヤリティー収入減少の影響で、減益となりました。

- ViiV社からの配当金が、2013年度分に加えて、2014年度分も当期中に確定したことで2年分を計上したため、配当金収入が大幅に増加しました。また、円安によって為替差益が増加したこともあり、3年連続過去最高益を達成しました。

- 過年度税金費用を計上しましたが、経常利益が大きく増益となったことで、前年を上回る結果となりました。

次期の見通し

<売上高>「テビケイ」「トリメク」のグローバル売上拡大によるロイヤリティー収入の増加と、日本イーライリリー社との国内における「サインバルタ」に関する販売契約の変更により、増収を見込んでおります。

<利益>「テビケイ」「トリメク」のロイヤリティー収入の増加に加え、全社的に効果的な費用の活用を進めることで、各利益は増益となる見通しです。

為替レート(期中平均)	2013年度実績	2014年度実績	2015年度前提
ドル	100.18円	109.76円	120円
ユーロ	134.23円	138.69円	130円
ポンド	—	176.68円	175円

当期より研究開発費に関する会計方針の変更を行っております。そのため2013年度の営業利益、経常利益、当期純利益は遡及修正後の数値を用いて記載しております。

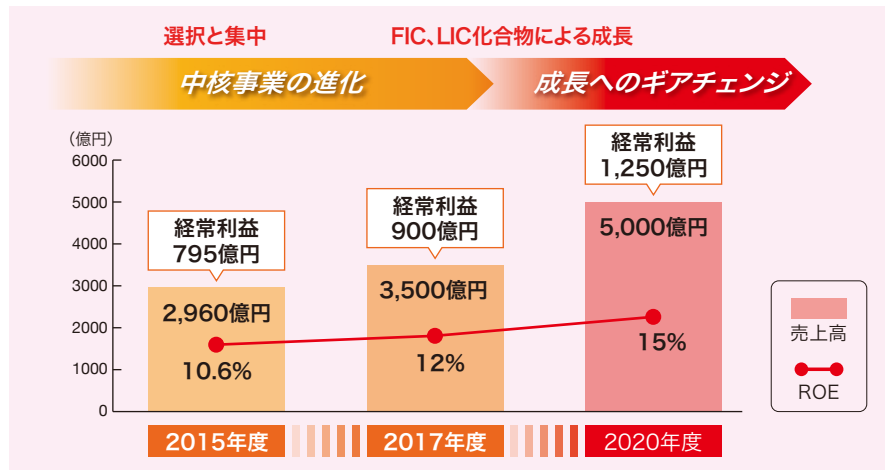
財政状況等その他詳細については、当社インターネットホームページをご参照ください。 <http://www.shionogi.co.jp/ir/library/materials.html>

SGS2020ローリングプラン (2017年度目標)

2017年度の位置付け: 中核事業を進化させ、更なる成長軌道に乗せる

中期経営計画SGS2020では、事業環境の変化に即応し持続的な成長に結び付けていくため、毎年成果と課題を確認しながら向こう3年間でやり遂げるべき事項を明確にする3年ローリング方式で管理しています。

2017年度までの3年間は、さらなる成長軌道に乗せるステージと位置付け、より一層の「選択と集中」を推し進めてまいります。



トピックス

1月

閉経後膣萎縮症治療薬「センシオ」欧州にて販売承認を取得

欧州における閉経後膣萎縮症でお困りの方に対し、新たな治療選択肢を提供することが可能となりました。「センシオ」は、シオノギ Limitedで発売する初の新有効成分医薬品であり、米国の「オスフィーナ」とともに、海外事業の成長を牽引する新薬として期待がもたれます。

3月

「クレストール」の販売額がアストラゼネカ社と合わせて1,000億円(薬価ベース)突破

シオノギ創製の高コレステロール血症治療薬「クレストール」が、米国に続き日本でもブロックバスターに成長しました。シオノギの基本方針を具現化した成果であり、SGS2020達成に向け大きな弾みとなりました。



HIVフランチャイズの順調な拡大

「デビケイ」:35カ国で販売(2015年5月現在)

3月

ViiV社による抗HIV薬配合剤「トリーメク」の国内承認取得、両社による情報提供活動開始

「デビケイ」を含む配合剤「トリーメク」は、薬剤耐性が生じにくく、食事の影響を受けない、1日1回1錠の薬剤です。

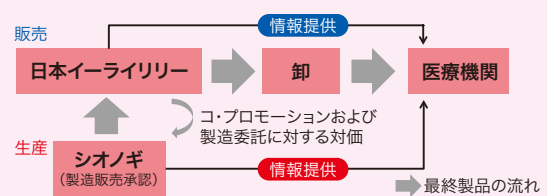
▶「デビケイ」は、当社とViiV社との共同研究開発から見出されたHIVインテグラーゼ阻害薬です。現在は、ViiV社が関連化合物を含めた全世界での開発ならびに販売の権利を保有しております。当社は、「デビケイ」および関連化合物(配合剤を含む)のグローバル販売に応じたロイヤリティーを受け取る権利を保有するとともに、ViiV社株式の10%株主として配当金を受け取ります。国内においては、両社で情報提供活動を行っております。

3月

「サインバルタ」の国内における新たな販売契約を締結

日本イーライリリー社と2社で国内販売を行ってまいりました「サインバルタ」について、製品価値最大化を目的に、新たな契約枠組みに変更いたしました。4月より、日本イーライリリー1社が販売を行い、情報提供活動を2社で協業しております。両社それぞれの専門性を最大限に活かし、医療従事者のニーズに迅速にお応えするとともに、患者さまのQOL向上に貢献してまいります。

「サインバルタ」の新しい契約枠組み



パイプライン(2015年5月現在)

優先すべき開発品の「選択と集中」により、国内外で開発のスピードアップを図っています。主要パイプラインの開発状況は以下のとおりです。

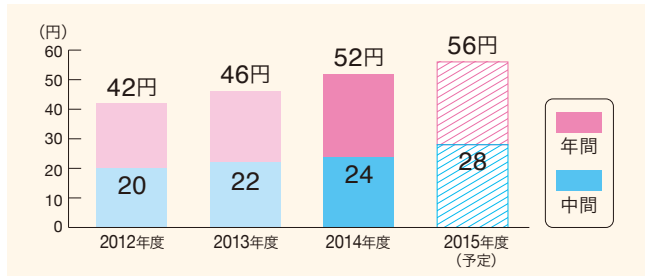
領域	開発No. / 「製品名」	適応症	ステージ
感染症	S-649266	重症細菌感染症	フェーズ II
疼痛・神経	「サインバルタ」	線維筋痛症に伴う疼痛	承認(2015年5月)
	「サインバルタ」	慢性腰痛症に伴う疼痛	申請中(2014年12月)
	「サインバルタ」	変形性関節症に伴う疼痛	フェーズ III
	S-297995	オピオイド副作用緩和	フェーズ III
	「オキシコンチン」	慢性疼痛における鎮痛	フェーズ III
	S-877503 S-877489	ADHD(注意欠陥・多動性障害)	申請準備中 フェーズ III
フロンティア	S-524101	ダニ抗原によるアレルギー性鼻炎	承認(2015年3月)
	S-888711	血小板減少症	申請中(2014年12月) フェーズ III

:国内開発品 :グローバル開発品

配当金について

当社グループは、事業価値の最大化とビジネスオペレーションの強化によって得られた利益を、成長を共に実感していただけるよう株主の皆さまへ還元するとともに、将来に向けた成長投資や戦略的な事業投資にバランスよく配分することで経営基盤の強化に取り組み、企業価値の最大化につなげてまいります。

1株当たり配当金



株主の皆さまには、株主資本配当率を指標として成長過程に応じた安定的な配当の向上を目指しておりますことから、2014年度期末配当は1株当たり28円と4円増配いたしました。中間配当と合わせた年間の配当金は1株当たり52円となり、年間で6円の増配となります。

また、100億円の自己資金と、2019年満期ユーロ円貨建転換社債型新株予約権付社債の発行で調達した201億円(額面200億円)を加えた、総額300億円の自己株式の取得を実施いたしました。

新任取締役のご紹介

一層の経営戦略の強化と多様性の推進を図るため、第150回定時株主総会終了後の取締役会において、取締役1名を増員しましたので、ご紹介いたします。

さわだ たくこ
澤田 拓子 (専務執行役員、経営戦略本部長 兼務)

澤田でございます。

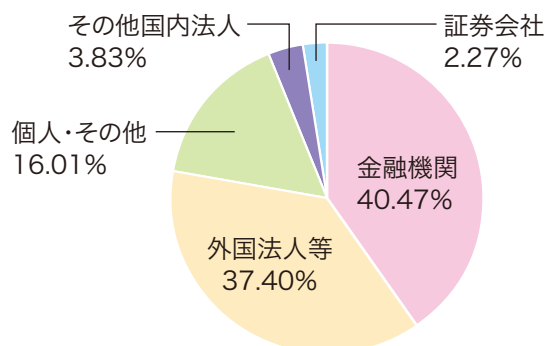
昨年来、コーポレートガバナンス(企業統治)の強化が「日本成長戦略」の重要な柱として位置付けられるなど、企業の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上が求められております。

私は、専務執行役員を兼務する立場であることから、これまで培ってきた「現場の知識」と「多様な価値観」を活かしながら、業務執行と取締役会との連携を強化し、経営に関するより迅速な意思決定に貢献するとともに、経営の透明性ならびにステークホルダーの皆さまへの説明責任の一層の向上に取り組んでまいります。



株式の状況 (2015年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 1,000,000,000株
- 発行済株式の総数 351,136,165株
- 株主数 24,298名
- 所有者別株式分布



(注)所有者別株式分布状況は自己株式を「個人その他」に含めて、表示しております。

株主メモ

- ◇事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ◇定時株主総会 6月
- ◇基準日 定時株主総会:3月31日 期末配当金:3月31日
中間配当金:9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- ◇単元株式数 100株
- ◇公告掲載方法 電子公告
当社インターネットホームページ (<http://www.shionogi.co.jp/ir/announcement.html>) に掲載しています。
- ◇上場証券取引所 東京
- ◇証券コード 4507
- ◇株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 (東京都千代田区丸の内1丁目4番1号)
- ◇同事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (大阪市中央区北浜4丁目5番33号)
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031
(インターネットホームページ) 三井住友信託銀行インターネットホームページ <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

◀株式事務手続のご案内▶

- ◆住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお届出およびご照会先

証券会社等の振替口座で保有されている株式に関する手続	株主様が口座を開設されている証券会社等
特別口座に記録された株式に関する手続	当社が特別口座を開設している三井住友信託銀行 (ご照会は上記の電話照会先をお願いいたします。)

